




第5学年 図画工作科「場所を変身させて楽しもう ～附坂小芸術祭2019～」

学習指導者 造田 朋子

<p>主張点</p>	<p>導入で瀬戸内国際芸術祭の作品を鑑賞し、自分たちも見慣れた場所を新しい空間につくり変え、「附坂小芸術祭2019」をしたいと意欲をもち造形的な見方・考え方を働かせ、発想や構想を繰り返し工夫していきました。さらに、友達との鑑賞を繰り返してイメージを広げ、新しい工夫を見付けられるようにしました。</p>
<p>前時までの学び</p>	<p>それぞれが選んだ場所の形や色、空間の特徴等から感じたことを基に、材料を選んで加工したり組み合わせたりして、場所を変身させてきました。そして、「友達と見せ合って、もっと工夫を考えたい」という意欲を高めていました。</p>
<p>〈課題設定以前〉 1 学習課題を確認する。</p>	<p>前時までの活動を振り返る場面で、<u>変身までの道のり</u>の掲示を基に、今までにしてきたことと本時したいことを想起し、本時の課題を確認しました。</p> <p>前の時間は、滝の形をねじったり曲げたりして変えたら、もっと面白くなったよ。友達に工夫を紹介したり、アイデアをもらったりして、つくる活動に生かしたいな。</p>  <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; text-align: center; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>学習課題：友達と見せ合って工夫を考え、変身させよう</p> </div>
<p>〈課題解決中〉 2 変身の経過を鑑賞し合う。 3 場所をもっと工夫して変身させる。</p>	<p>場所を少しでも変身させる毎にタブレットの記録フォルダに写真を撮り記録していました。他の友達と活動の経過の写真を見せ合いながら、なぜそのように変身させてきたのか、形や色などの造形的な特徴を視点に工夫のよさを伝え合う鑑賞タイムを行いました。そうすることで、自分や友達の工夫のよさに気付いた子供たちは、新しい工夫を見付けて、次の製作活動へつなぎ、場所を変身させていきました。</p> <p>秋のイメージだから、本物のドングリや松ぼっくりを飾りにしたよ。窓枠の奥まったところを生かして、滝が出てくるようにしたよ。</p>  <p>本物の材料を使ったり、場所の特徴を生かして素敵だね。私たちも、廊下の天井から魚を吊るして水族館の中にいるみたいにしたよ。</p>
<p>〈課題解決後〉 4 本時の学びを振り返る。</p>	<p>本時の学びを「自分のよさ」「友達のよさ」「次にしたいこと」の観点で振り返りシートに記入し、友達と伝え合いました。全体で交流する中で、教師が構造的に板書することで、自分たちの学びについて見つけ直していきました。</p> <p>今までよりももっと空間を広げて考えることができたよ。友達は使う色を増やして、自然の森の感じにしていたよ。次は滝の形をもっと変えたいな。</p> 
<p>考察</p>	<p>変化の過程を写真で記録することで、場所の変化と自分の活動を明確に振り返ることができ、次の活動を考えやすかった。鑑賞し合う際、誰と何を話すのかについて明確に示すことで、より効果的な鑑賞タイムになったと考えられる。</p>